

重症児の在宅支援を担う医師等養成

インテンシブコース

平成
30年度

受講生募集

受講料
無料

コースに
ついて

重症心身障害医療に関わる多職種との相互理解・相互連携を学び、重症心身障害児・者の在宅支援/在宅移行支援を円滑に実践できる医師・コメディカルを養成するコースです。

コース
開講期間

1年間(平成30年4月～平成31年1月)

定員 40名

会場

鳥取大学医学部構内

対象

医師、看護師、保健師、社会福祉士、相談支援専門員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、介護福祉士 等

応募に
ついて

下記に受講申請書をお送り
いただくか、メールまたは
お電話でお問合せください。

※受講申請書は下記HPよりダウンロードできます。

応募
期間

平成30年

2月13日(火) ▶ 3月30日(金)

●定員に達した場合、応募期間内であっても募集を締切らせていただきます。

問 合 せ 先

鳥取大学医学部 総務課学事係 〒683-8503 鳥取県米子市西町 86番地

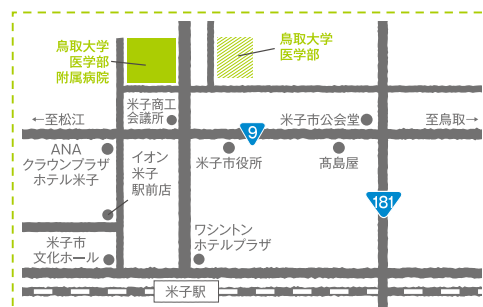
TEL 0859-38-7035 FAX 0859-38-7029

mail me-gakuji@ml.adm.tottori-u.ac.jp

HP <http://www.med.tottori-u.ac.jp/jushoji/>



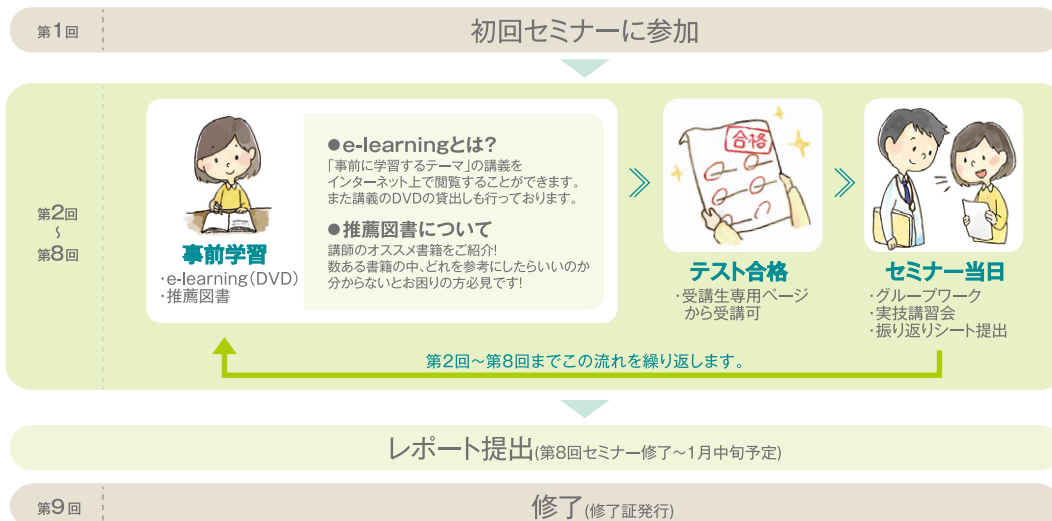
鳥取大学医学部
Tottori University Faculty of Medicine



コース概要

重症心身障害児・者の在宅支援を行うために必要な知識・コーディネート能力を修得します。e-learningシステムを使った学習ではご自身のペースで繰り返し学習ができ、また多職種の方が参加するグループワークでは症例を通してより実践に近い形で学ぶことができます。

受講の流れ



コース日程

(日程・プログラム内容は一部変更になる場合があります。)

	日付	時間	テーマ	事前に学習するテーマ
第1回	4/15(日)		1.多職種連携に関するミニレクチャー 2.ワールド・カフェ(自分自身の目標を設定しよう!)	
第2回	5/19(土)		1.グループワーク(乳幼児期: NICUからの在宅移行と幼児期の支援) 2.グループワーク(乳幼児期: 応用編)*	在宅医療経済と診療報酬／医療福祉制度／呼吸器疾患
第3回	6/23(土)		実技講習会(基礎編: 医療的ケアと緊急時対応)	消化器疾患／腎泌尿器疾患
第4回	7/21(土)		1.グループワーク(学童期: 就学時の支援と学校での医療的ケア) 2.グループワーク(学童期: 応用編)*	支援計画の立て方／地域の療育・教育・保育体制
第5回	8/26(日)		実技講習会(アドバンス編: 呼吸理学療法と在宅人工呼吸器・酸素・排痰補助装置)	リハビリテーション
第6回	10/20(土)		1.グループワーク(思春期: 日中の活動の場と身体合併症の管理について考える) 2.グループワーク(思春期: 応用編)*	皮膚・褥瘡予防と看護／栄養管理
第7回	11/17(土)		1.グループワーク(成人期: 親亡き後の支援を考える) 2.グループワーク(緩和ケア: 子どもと家族のQOL)	運動器疾患／神経疾患／循環器疾患／緩和ケア
第8回	12/16(日)		1.グループワーク(リスクマネジメント: 自宅での突然死症例から学ぶ) 2.グループワーク(マルトリートメント: 障害児におけるマルトリートメント)	家族看護／虐待
第9回	平成31年 1/27(日)		修了式、市民公開講座	

※グループワーク応用編では、皆さんから募集する「困難事例」を取り上げ議論します。

●受講会場は、全日程鳥取大学医学部構内です。

●登録された受講者には「研修記録簿」を交付するとともに、電子メールにより詳細な日程・内容をお知らせします。